

2024年2月9日
株式会社中央経済社

『公認会計士試験短答式 理論科目集中トレーニング 監査論〈令和3年版〉』
(南 成人 [著])
お詫びと訂正のお知らせ

本書において、下記のとおり誤りがございました。読者の皆さまにご迷惑をおかけいたしましたこと深くお詫び申し上げます。恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、本書をご利用くださいますようお願い申し上げます。

頁	訂正箇所	誤	正
290	F36	監査人が不正による重要な虚偽の表示があると判断するのは、不正による重要な虚偽の表示を示唆する状況について、関連して入手した監査証拠に基づいて経営者の説明に合理性がないと判断した場合に限定される。	監査人が不正による重要な虚偽の表示の <u>疑義</u> があると判断するのは、不正による重要な虚偽の表示を示唆する状況について、関連して入手した監査証拠に基づいて経営者の説明に合理性がないと判断した場合に限定される。

以上